平成 18 年度事業計画

【組織体制】

理事長　竹本加良子
副理事長　木下元祐
理事　井上和治
大橋千尋
向當和弘
北原裕樹
監事　上坂紀夫
斉藤嘉造

【事業】

## 1．ライフスタイル研究事業

- 調査研究事業【竹本】　武生の街なかの歳時記調査
  ２年後の 2008 年に「武生暮らしの歳時記（仮称）」出版に向け、武生の歳時記を調査・研究を行う。メンバーは、この指とまれ方式で募る。
- ﾃﾞｼﾞﾀﾙｱｰｶｲﾌﾞ事業【井上】　ｺﾐｭﾆﾃｨ･ｻｲﾄ事業との連携を図る。
  福井県･武生市などからの委託事業。
  武生市市史編纂事業での協働。
- 講師派遣事業【井上】　四日市市市民向け講座の講師（10 月、1 月）その他。
- 講演会事業【井上】　未定。

## 2．まちづくり事業

- 情報発信事業【竹本】　ホームページ･メルマガ･通信などの発行。ｺﾐｭﾆﾃｨ･ｻｲﾄ事業および調査研究事業の「武生の暮らし歳時記（仮称）」とも連携を図る。
- ラピュタ工房事業【竹本】　マップ作成、チラシ作成、文書作成、印刷　大型プロッター出力、データ入力、スキャナー入力、他各種サービスの提供。
- まちづくり支援事業【井上】　町内会、地元商店街との連携を図る。
  6/4（日）に「伊勢太神楽」を共同で開催。
- コミュニティサイト事業【木下】　自治振興会を利用者の中心としていたが、越前市の情報政策課が情報統計課に変わり、これに伴い当初地域情報政策の施策として進めていた本事業は、地域住民向けだけでなく、他の利用

者も対象とする。本年度は収支のバランスがとれるような運営へと軌道修正が必要となった。（越前市および審査委員と 2006 年 5 月 10 日、18 日に会議を開催済み)。この変化によって、事業開始時に合意を得ていた越前市からの仕事(450 万円程度)は期待できない状態となった。よって、現事業の対象である、自治振興会、NPO に加え、「越前ブランド」の創出を目的とした地元の企業を対象とする Web ショッピングサービスを開始する。本年度は、1 件を目標に、開店・運営を行う。開店するための費用および売上げ手数料を収入とする。また、辻風とラピュタの推薦する作家の商品の販売も行なう。
地域 LAN 事業は、現在の大虫地区・白山地区・万葉の里恋の唄の継続、北新庄地区の新規登録等を予定している。

## 3．生活文化事業

- ギャラリー･講座事業【竹本】　引き続きギャラリー利用の推進を図る。
- otona の文化祭事業【竹本】　予定:10 月 1 日～10 月 15 日までの 15 日間､土･日･祝に集中させ、質の高い企画を行う。無理はしない。
  (案)きもの de 来武、ライブ、講座など
- きもの de 来武事業【大橋･市橋】　きもの de 来武（４月、10 月）
- ﾗﾋﾟｭﾀきもの倶楽部事業【大橋】　武生での着物ライフを楽しみ、PR する活動。
- 蔵の辻映画会事業【向当】　6 月から 9 月までの毎土曜日に、蔵の辻で映画界を行う。映画上映会を通して、地元住民が気軽に集まれ、話せる場を作る。
  また、「ラピュタ de 茶論」の再開も検討する。
- 太神楽総舞【井上】　6/4(日)（雨天の場合、6/10（土））
  今回より、蓬莱町・蔵の辻協議会・四商連が共催。ラピュタは、広報と運営を担当。

## 4．コミュニティ・ビジネス支援事業

- 地元商品販売事業【北原】　辻風と拠点に、越前焼や和紙などを販売。
  コミュニティサイト事業と連携。
- 武生地域ケア【井上】　地元の有志の方と相談しながら可能性を探る。

## 5．その他

＜運営＞

・　理事会を定期的に開催する。（案）偶数月の第 1 木曜日　夜 8:00～10：00

・　スタッフ定期会議を開催する。（案）第 2・第 4 金曜日　夜 8：00～10：00
　報告による情報共有。問題解決を行う。

・　ボランティアスタッフの増員を図る。

・　コミュニティサイト事業の資産を有効活用する。

・　全事業について、赤字を出さないこと。